

# 摂食嚥下障害学

教授 久保 高明  
Takaaki Kubo

## 現在の研究テーマと内容

### 摂食嚥下機能改善のための新たな理学療法の開発

喉頭やその周囲への徒手的な介入や物理療法の、嚥下時筋活動などに及ぼす影響を検討するために、徒手療法では介入様式の違いによる検討、介入時の姿勢による検討などを行っています。物理療法に関してはホットパックなどの温熱療法による検討を行っています。

## これまでの研究成果と今後の展開

これまで学内摂食嚥下研究チームメンバーや大学院生、学部生と一緒に口腔内刺激、嚥下機能評価、温熱療法、運動療法などに関する論文発表および学会発表を行ってきました（平成23年度以降）。

### 【論文】

- 1) 竹谷剛生, 古閑公治, 久保高明他  
Kinectを用いた健常者における非侵襲・非接触型嚥下機能評価法の研究  
保健科学研究誌, 第14号: 103-113, 2017.
- 2) 船越和美, 古閑公治, 久保高明他  
口腔清拭用スポンジブラシの口腔内刺激による口腔機能への効果  
保健科学研究誌, 第14号: 149-156, 2017.
- 3) 渡邊有佳, 久保高明, 伊藤優美他  
前頸部への温熱療法や頸部の嚥下体操が嚥下時筋活動に与える影響について  
保健科学研究誌, 第12号: 65-73, 2015.

他論文数件

### 【学会発表】

17件（日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会等）

## 大学院を目指すみなさんへメッセージ

摂食嚥下障害はチームでの対応が必要な領域です。摂食嚥下障害領域の研究を希望するみなさんの指導は、理学療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、看護師で構成される摂食嚥下研究チームで行うので、多面的な視点からの研究指導、論文指導等が可能です。